

# 2012 年第 1 回 IEEE Shin-etsu Section 役員会議事録

日時：4月23日（月）16：30～17：30

場所：信州大学工学部情報工学科 2階会議室(209)

及び、長岡技術科学大学 工学部 電気1棟616号室(6F)

●は出席、★は欠席

## Elected Officers

		会 場 (交通手段)
●Chair	大石 潔、長岡技術科学大学、	長岡技大 (-----)
★Vice Chair	金子 双男、新潟大学、	----- (-----)
●Secretary	岩橋 政宏、長岡技術科学大学	長岡技大 (-----)
●Treasurer	佐々木重信、新潟大学、	長岡技大 (自家用車)
●Past Chair	岡本 正行、信州大学 工学部、	信州大学 (-----)

## Standing Committee Chairs

●Membership Development	角山 正博、新潟工科大学	長岡技大 (自家用車)
●Student Activities Chair	劉 小晰、信州大学	信州大学 (-----)
★Nominations Chair	山口 芳雄、新潟大学、	----- (-----)
●Technical Program Chair	アギレ・エルナン、信州大	信州大学 (-----)

## Other Executive Committee Members

●	アサノ デービッド、信州大学	信州大学 (-----)
●	宮崎敏昌、長岡技術科学大学、	長岡技大 (-----)

## 【議事 1】2013/2014 年 Japan Council 役員選出について

※2012 年第 1 回 Japan Council 理事会資料から

1. Nominating Committee Chair の選出 (3月29日)  
Council Chair が委員長を指名し、委員会を発足させる。→山口芳雄先生 (新潟大学) を選出済み
2. Call for Nomination (3月30日)  
選挙権のある Council 理事へ候補者指名を依頼する。-----選挙の6ヶ月前
3. Nomination 締め切り (4月30日)  
Call for Nomination の一ヶ月後。
4. 候補者リストの配付 (7月27日)  
指名候補者の立候補の意志を確認し、各役職につき2名—3名の候補者リストを作り、  
Council 理事会の承認後 Voting Members に配付。-----選挙の6週間前  
各役職について候補者が一名のみの場合、選挙は行わず、Council 理事会の  
voting member の承認を受け決定する。(運営の細則)

5. 選挙の実施（9月30日--投票締切り）  
選挙の実施にあたり、Council Chairは3名の選挙管理委員を理事の中から指名し、Council 理事会の承認を得る。
6. Council 理事会へ選挙結果報告（10月中旬までにメール会議で）  
選挙管理委員会は選挙結果を Council Chair に報告し、Council Chair は各候補者に結果を知らせた後、理事会に報告する。
- 「Japan Council 運営の細則」、「Japan Council Bylaws」は、<http://www.ieee-jp.org/japancouncil/> を参照。

来年の Chair は金子先生、past chair は大石先生として内諾済み。審議の結果、今週金曜 4/27 までに、vice chair と treasure を信州大から、secretary を新潟大学から、それぞれ指名することとなった。

参考資料

<b>IEEE ShinEtsu これまでの役員一覧</b>				
	2006～08	2009～10	2011～12	2013～14
<b>Elected Officers</b>				
Chair	仙石 正 新潟大学	岡本 正行 信州大学	大石 潔 長岡技大	金子 双男 新潟大学
Vice Chair	山沢 清人 信州大学	大石 潔 長岡技大	金子 双男 新潟大学	信州大学から
Secretary	佐藤 孝 新潟大学	アサノ 信州大学	岩橋 政宏 長岡技大	新潟大学から
Treasurer	半田 志郎 信州大学	山崎 克之 長岡技大	佐々木重信 新潟大学	信州大学から
Past Chair		仙石 正 新潟大学	岡本 正行 信州大学	大石 潔 長岡技大
<b>Standing Committee Chairs</b>				
Membership Development Chair	宮澤 正幸 新潟工科	田中 清 信州大学	角山 正博 新潟工科	
Nominations Chair (Appointments/Awards)	荻原 春生 長岡技大	中島 繁雄 新潟工科	山口 芳雄 新潟大学	
Technical Program Chair (Professional Educational)	原田 信弘 長岡技大	加藤 景三 新潟大学	エルナン 信州大学	
Student Activities Chair	佐井 篤儀 新潟大学	大河 正志 新潟大学	劉 小晰 信州大学	
<b>Other Executive Committee Members</b>				
		佐藤 孝 新潟大学	アサノ 信州大学	
		半田 志郎 信州大学	宮崎 敏昌 長岡技大	
		宮澤 正幸 新潟工科		
		荻原 春生 長岡技大		
		原田 信弘 長岡技大		
		佐井 篤儀 新潟大学		
		吉田 佳史 Seiko Epson		

## 【議事 2】 2011 年収支決算

※2012 年第 1 回 Japan Council 理事会にて報告

2011年IEEE 信越セクション収支決算		
		自 平成23年 1月 1日
		至 平成23年12月31日
<<収入の部>>		
科 目	決 済 額(円)	備 考
前年度繰越	1,400,379	
Section Rebate	239,277	IEEE 本部より
Section Assessment	336,997	IEEE 本部より
Supprt from JC	325,000	Japan Councilより
銀行利息	278	
合 計	2,301,931	
<<支出の部>>		
科 目	決 済 額(円)	内 容
Supprt to JC	336,787	Japan Councilへ
共催講演会 旅費	11月23日	31,280 桂先生(慶応大)@長岡技大
	12月2日	28,940 二本先生(中央大)@信州大
支部会議	5月6日	14,800 交通費
	10月8日	15,650 交通費
	11月23日	8,620 交通費
信越セッション	10月8日	94,745 通信学会、協賛金、賞品(図書券)、賞状代
	11月23日	55,000 電気学会、協賛金、賞品(図書券)
学生国際会議参加費補助	250,000	5名
銀行手数料	3,465	
合 計	839,287	
2011年収支決算額		
収 入	2,301,931 円	
支 出	839,287 円	
残 高	1,462,644 円	→ 2012年へ繰越

- ・「Section 支援費申請書 (Support from JC)」を7月にJCへ提出し、10月に承認された。  
内容は、Young Researcher Paper Awards 75,000円、および、国際会議支援費 250,000円
- ・以下の3点を2/17までに提出すれば、「10% rebate bonus」をもらえるとの連絡あり。
  - ① Meeting Report Form (L31)、② Officer Report Form、③ 2011 Financial Report (L50)
- ・上記について、佐々木 treasurer から説明があった。

## 【議事 3】 2012 年予算案

※2012 年第 1 回 Japan Council 理事会にて報告

2012年 IEEE信越支部の予算計画		
<<収入の部>>		
科 目	予 算 額(円)	備 考
前年度繰越	1,462,644	
Section Rebate	240,000	IEEE 本部より
Section Assessment	337,000	IEEE 本部より
Supprt from JC	325,000	Japan Councilより(申請予定)
銀行利息	500	
合 計	2,365,144	
<<支出の部>>		
科 目	予 算 額(円)	内 容
Supprt to JC	336,790	Japan Councilへ
共催講演会旅費	100,000	講演者交通費
支部会議	80,000	交通費、準備費
信越セッション発表会	180,000	協賛学会協賛金、優秀発表の表彰
学生国際会議参加費補助	250,000	5名を予定
銀行手数料	10,000	振込手数料、換金手数料
支出小計	956,790	
次年度繰越金	1,408,354	
合 計	2,365,144	

1. 収入 section rebate IEEE 本部より 7 月頃に入金予定か？
2. 収入 section assessment IEEE 本部より 4 月に入金済み（手数料を除いて JC へ振り込む）。
3. 収入 support from JC 昨年は、7 月に申請して 10 月に JC から入金された。
4. 支出 support to JC 4 月に手数料を除いて JC へ振り込み完了。

## 【議事 4】 2012 年の Section Assessment について

- ・ 3/30 Japan Council の Treasurer : 河野隆二先生から、Section Assessment の請求の依頼があった。
- ・ 4/02 佐々木先生から、Regional Activities Department Finance Coordinator の Geraldine 氏に、住友三菱銀行長野支店へ振り込んで頂くよう、メールで請求した。
- ・ 4/05 IEEE 本部から、\$4,516.00 (368,000 円) が振り込まれた。これは前期と後期を併せた分なので、10 月には後期分を請求しない。
- ・ 上記について、佐々木 treasurer から説明があった。収入の「support from JC」が 4 割削減となる可能性が高い。その場合、次年度繰越金分から拠出して、昨年同様の活動を行うこととなった。

## 【議事5】2012年活動計画

※2012年第1回 Japan Council 理事会にて報告

### 1. 講演会・講習会

- IEEE 信越支部が共催もしくは協賛する専門講演会を、信越支部内の各大学あるいは高専において開催する。
- 電子情報通信学会・信越支部大会、および、電気学会・東京支部新潟支所大会において、IEEE Session を開催し、地域の学生に対し、英語による発表・討論の場を提供する。
- 上記の IEEE Session において、Young Researcher Paper Awards をそれぞれ2名（合計4名程度）選抜し、賞を与え活動を称える。
- 電子情報通信学会・信越支部大会、および、電気学会・東京支部新潟支所大会において、IEEE 信越支部が共催する専門講演会を開催する。10月と11月を予定している。

### 2. 学生増員

- 学会におけるアナウンスや、ホームページなどを介して、昨年に引き続きより一層、学生会員数を増やす方法を検討して実施する。

### 3. 学生国際会議参加費補助

- IEEE 信越支部の地区にある大学もしくは高専に在籍する学生を対象として、IEEE が主催もしくは共催する国際会議において発表する（あるいは発表予定の）学生に対し、参加補助費を助成する。5万円/人×5名程度を選抜する予定。

### 4. シニア・メンバーの増員

- シニア・メンバーへノミネートされる可能性のある会員を調べ、手続きすることを奨励し、その方法を示し、推薦人を紹介するなど諸般工夫し、シニア・メンバーへの申請者数を増やす。

### 5. Chapter の設立

- IES Chapter (IEEE Industrial Electronics Society Japan Chapter) の設立を検討中。

### 6. 役員会

- 2012年4月23日(月)に実施 : 第1回支部役員会
- 2012年10月13日(土)を計画中 : 第2回支部役員会 (電子情報通信学会 信越支部大会)  
会場は、新潟大学
- 2012年11月10日(土)を計画中 : 第3回支部役員会 (電気学会 東京支部 新潟支所 研究発表会)  
会場は、長岡技大
- (2012年12月 : 必要に応じて開催)

## 【議事 6】 2012 年第 1 回 Japan Council 理事会

※佐々木先生が出席

日時：2012年3月29日（木）午後3時00分～5時00分

場所：汐留シティセンター、富士通株式会社 24 階 セミナールーム

### 議題

1. 前回理事会議事録の確認（審議）
  2. 2011 年会計報告および監査報告（報告）
  3. Japan Council 2012 年活動計画（審議）
    - ・ Chapter Operations Committee
    - ・ Student Activities Committee
  4. Ad-Hoc 委員会 2012 年活動計画（審議）
    - ・ Long Range Strategy Committee
    - ・ History Committee
  5. 2012 年予算（報告）
  6. 2013/2014 年役員選挙スケジュールおよび Nominating Committee 選出（審議）
  7. 各支部 2012 年活動計画（報告）
  8. その他
    - ・ R10 meeting 報告（報告）
- ・ 上記について、佐々木 treasurer から説明があった。

## 【議事 7】 2012 年 Region 10 meeting（インド・コルカタ、3/2-6）

※岩橋が出席

Date: 3rd & 4th March 2012 (Saturday & Sunday)

Time: 08:30 - 18:00 hours

Hotel / Venue: Swissotel Kolkata

Address: City Center New Town, New Town, Rajarhat, Kolkata India

- ・ 旅費と宿泊費は立て替えておき、4月にIEEEへ領収書を添付で請求することで、支払われた。
  - ・ 「Section Report」を、R10に間に合うように、2012年2/17までに提出するよう要求があった。
  - ・ L31 フォームに従って、活動実績をすべて、Webに入力する必要があった（相当時間がかかる）。
- ・ 上記について、岩橋 secretary から説明があった。

## R10 AGM Meeting - 2012: Kolkata, India

3rd March 2012: DAY 1	
Time	Agenda Items
0800-0830	Registration and Arrivals of Delegates
0830	Call to Order by R10 Director
0830-0850	Roll Call
0850-0855	Review and Approval of Agenda
0855-0915	Welcome Address by Region 10 Director
0915-0930	Address by 2012 President-Elect
0930-0945	Address by Vice President, MGA
0945-0955	Address by Managing Director, MGA
0955-1005	Report on the Region 10 EXCOM Meeting in Colombo, January 2012
1015-1010	Approval of Minutes of the R10 Meet in San Francisco, August 2011
1010-1030	Coffee/Tea Break
1030-1035	Welcome by President Elect Candidate 2012: Roberto De Marca
1035-1040	Welcome by President Elect Candidate 2012: Tariq Durrani
1040-1100	President Elect Q&A
1100-1115	2011 Finance Report by R10 Treasurer Audit Report for 2011 Finance
1115-1125	Presentation of 2012 Budget by R10 Treasurer
1125-1150	Photo Call
1150-1300	Lunch
1300-1330	Presentation by Membership Activities Committee, Vice Chair - 20 mins presentation, 5 mins Q&A, Introduce the MAC team
1330-1400	Presentation by Technical Activities Committee, Vice Chair - 20 mins presentation, 5 mins Q&A, Introduce the TAC team
1400-1410	R10 Advisory Committee
1410-1415	Briefing on Poster Session
1415-1600	Poster Sessions by EXCOM members
1530-1600	Coffee/Tea Break
1600-1610	Global Humanitarian. An update by global chair
1610-1625	Student Retention Challenge. Actions to improve situation, starting from India
1625-1635	Knowledge Sharing: Presentation by 2010 R10 Large Section Award Winners on its Section
1635-1645	Knowledge Sharing: Presentation by 2010 R10 Small Section Award Winners on its Section
1645-1655	Announcement of R10 Director-Elect Candidates
1655-1705	HKN
1705-1730	IEEE Reserves
1730	Close of Day 1 Meeting

4th March 2012: DAY 2																			
Time	Agenda Items																		
0830	Call to Order																		
0830-0840	Report on TENCON 2011																		
0840-0850	Presentation on TENCON 2012																		
0850-0900	Presentation on TENCON 2013																		
0900-0905	Call for R10 TENCON II Bid																		
0905-0910	Executive Session: Approval of Agenda																		
0910-0920	Executive Session: R10 Bylaw Change																		
0920-0930	Executive Session: OU Petition Procedures																		
0930-0940	Executive Session: Rectification of R10 Budget																		
0940-0945	Executive Session: Any Other Business																		
0945-1000	Coffee/Tea Break																		
1000-1200	<b>TRAINING WORKSHOP</b>																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 40%; text-align: center;">Breakout 1: 'Session for for New Chairs'</th> <th style="width: 45%; text-align: center;">Breakout 2: 'Session for Experienced Chairs'</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">Time</td> <td style="text-align: center;">Facilitator: Deepak Mathur, R10 Excom</td> <td style="text-align: center;">Facilitator: Hang Bong Kang, R10 Excom</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1000-1025</td> <td style="text-align: center;">Discussion led by President-Elect Candidate: Tariq Durrani</td> <td style="text-align: center;">Discussion led by President-Elect Candidate: Roberto De Marca</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1030-1055</td> <td style="text-align: center;">Section Volunteer Leadership, Cecelia Jankowski, MD, MGA</td> <td style="text-align: center;">IEEE Offices: Fanny Su, Harish Mysore, &amp; Lan Wang</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1100-1125</td> <td style="text-align: center;">Section Management: Fanny Su, Manager, Asia Pacific</td> <td style="text-align: center;">A Training Session by Howard Michel, VP, MGA</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1130-1155</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Vtools for Volunteers - Eugene Khusid, Vtools MGA Staff</td> </tr> </tbody> </table>		Breakout 1: 'Session for for New Chairs'	Breakout 2: 'Session for Experienced Chairs'	Time	Facilitator: Deepak Mathur, R10 Excom	Facilitator: Hang Bong Kang, R10 Excom	1000-1025	Discussion led by President-Elect Candidate: Tariq Durrani	Discussion led by President-Elect Candidate: Roberto De Marca	1030-1055	Section Volunteer Leadership, Cecelia Jankowski, MD, MGA	IEEE Offices: Fanny Su, Harish Mysore, & Lan Wang	1100-1125	Section Management: Fanny Su, Manager, Asia Pacific	A Training Session by Howard Michel, VP, MGA	1130-1155	Vtools for Volunteers - Eugene Khusid, Vtools MGA Staff	
	Breakout 1: 'Session for for New Chairs'	Breakout 2: 'Session for Experienced Chairs'																	
Time	Facilitator: Deepak Mathur, R10 Excom	Facilitator: Hang Bong Kang, R10 Excom																	
1000-1025	Discussion led by President-Elect Candidate: Tariq Durrani	Discussion led by President-Elect Candidate: Roberto De Marca																	
1030-1055	Section Volunteer Leadership, Cecelia Jankowski, MD, MGA	IEEE Offices: Fanny Su, Harish Mysore, & Lan Wang																	
1100-1125	Section Management: Fanny Su, Manager, Asia Pacific	A Training Session by Howard Michel, VP, MGA																	
1130-1155	Vtools for Volunteers - Eugene Khusid, Vtools MGA Staff																		
1200-1215	New Business/Other Matters																		
1220	Adjournment of R10 Annual Meeting																		

# IEEE Shin-etsu Section (Japan) Annual Report 2011

## PART A - SECTION SUMMARY

### A.1 Executive Summary

New executive committee members were selected for the 2010-2011 period as follows.

Chair:	Kiyoshi Ohishi,	Nagaoka University of Technology
Vice-chair:	Futao Kaneko,	Niigata University
Secretary:	Masahiro Iwahashi,	Nagaoka University of Technology
Treasurer:	Shigenobu Sasaki,	Niigata University
Past-chair:	Masayuki Okamoto,	Shinshu University
Membership Development Chair:	Masahiro Tsunoyama,	Niigata Institute of Technology
Student Activities Chair:	Liu Xiaoxi,	Shinshu University
Nominations Chair:	Yoshio Yamaguchi,	Niigata University
Technical Program Chair:	Hernan Aguirre,	Shinshu University
Other Executive Committee	David Asano,	Shinshu University
Other Executive Committee	Toshimasa Miyazaki,	Nagaoka University of Technology

In 2011, we organized 3 IEEE technical meetings, 3 open seminars lectures and 2 IEEE sessions in corporation with IEICE and IEEJ in the Shin-etsu region in Japan. We supported 5 students in our section through IEEE Shin-etsu young researcher paper award, and 5 students through international conference travel aid.

### A.2 Financial Report

Our balance at the end of 2011 was 1,462,644 yen. Income for 2011 totaled 2,301,931 yen. Expenses in 2011 were 839,287 yen, resulting in a balance at the end of 2011 of 1,462,644 yen, which is about US\$18,280 at an exchange rate of 80 yen/\$.

## PART B - ORGANIZATIONAL ACTIVITIES

### B.1 Membership Development Activities

Life Fellow 1, Life member 3, Life senior 2, Fellows: 5, Senior Members: 14, Members: 173, Graduate Student Members: 22, Associate Members: 16, Student Members: 13  
Total: 249

In order to increase membership, we offer awards to student members. We also encourage members to apply for higher membership status. To this end, some of our executive committee members applied and were accepted for Senior Member status. These members can know encourage other members to apply by outlining the application procedure and helping with the required documents.

### B.2 Chapter Activities

At present there are no chapters in our section. Formation of a chapter is under consideration.

### B.3 Professional and Continuing Education Activities

We organized and/or co-sponsored the following technical meetings and lectures in 2011.

7. Oct.8: IEEE Session at the IEICE Shin-etsu Section Conference.



8. Oct. 12: "Co-existence of software development and community activity," lectured by Mr. Mitsuhiro Ishino, SoFu System Corporation, Microsoft MVP for C#.
9. Nov. 23: IEEE Session at the IEEJ Tokyo Section, Niigata Chapter Technical Meeting.
10. Nov. 23: "Tele Reality - perception and action media beyond time and space," lectured by Dr. Seiishiro Katsura, System design, Keio University.
11. Dec. 2: "Control and analysis on nanoscale structure of soft magnetic thin film for magnetic recording" lectured by Prof. Masaaki Futamoto, Chuo University.

#### **B.4 Students Activities**

At present, there are no student branches in our Section due to the low number of student members. We are encouraging students to join the IEEE and hopefully when there are enough members a student branch can be formed.

#### **B.6 Awards & Recognition Activities**

In the Shin-etsu Section, we presented paper awards to students who presented papers at the IEEE Sessions at the IEICE Shin-etsu Section Conference and the IEEJ Tokyo Section, Niigata Chapter Technical Meeting.

We also fanatically support to students who present papers at international conferences outside Japan.

#### **B.7 Communication Activities**

Our main method of communication with members in our section is via our Home Page. The URL of the English version is:

<http://www.ieee-jp.org/section/shin-etsu/index-e.html>

Our Home Page is updated whenever new information is available, which is typically every 1-2 months.

### **PART C - OTHERS**

#### **C.1 Relationship with National Societies**

There are several Japanese professional societies such as the IEICE and IEEJ. Since many people are members of both the IEEE and one or both of the IEICE and IEEJ, it is our policy to work in cooperation with these societies to promote engineering in the Shin-etsu region of Japan. To this end, we co-sponsor and co-organize many events.

### **PART D - GOALS AND PLANS**

#### **D.1 Continuation of Project/Activity in Progress and Their Implementation Plans**

In 2012, we will continue to provide awards and aid to students as described above. Also, we try to organize technical meetings at each university in the Shin-etsu region every year.

#### **D.2 Goals and Future Plans**

In the future, we plan to establish a chapter in our section and also a student branch. The relatively small number of members in our section is the main obstacle, so we must also think of ways to increase our membership.

## 【議事 8】各 chair からの報告

角山先生 (Membership Development Chair) より、下記について説明があり、指示に従い作成して提出することとなった (template は別添)。

----- Original Message -----

Subject: Shin-etsu Section MD Plan for 2012 Date: Tue, 10 Apr 2012 10:13:20 +0800  
From: Fanny Su <f.su@ieee.org> Reply-To: <f.su@ieee.org> Organization: Fanny Su  
To: <mtuno@iee.niit.ac.jp>, <ohishi@vos.nagaokaut.ac.jp>  
CC: <ieeapo@pacific.net.sg>, "Hang-Bong Kang" <hbkang@gmail.com>

Dear Shin-etsu Section Chair, Ohishi Kiyoshi and Membership Development chair, Masahiro Tsunoyama,

Last year on the 30 Nov 2011, Region 10 had its first **Region 10 membership development webcast** where we shared the MGA Geographic strategies for membership development, Region objectives, and **sample template** for Sections to develop their own local strategies.

We are now ready to roll out to each Section their template with up-dated Section statistics ending 31 Dec 2011. **We hope you will conduct your own Section's workshop on membership development before the 15 May 2012.** The Section template is to help you conduct your Section SWOT analysis of your local membership, align it with the calendar for membership recruitment and renewal, work with your Chapters, set membership targets and come up with your own membership retention and recruitment activities.

Please concentrate your efforts in activities that could help to recruit and retain student members.

If you should need more information or need clarification, please do not hesitate to contact [ieeapo@pacific.net.sg](mailto:ieeapo@pacific.net.sg) (Fanny & Ewell) for assistance.

**After your Section Membership Development workshop, please return the filled in template by 31 May 2012,** so that we can post it onto the Region 10 website for experience sharing with other Sections in Region 10. We thank you for your participation.

Yours Sincerely,  
Hang Bong Kang  
Region 10 Membership Development Coordinator

MD plan template (例。全部で 17 ページ)

